

# 六会地区 防災リーダーニュース

発行 六会地区防災リーダー連絡会  
事務局 六会市民センター 地域担当  
電話 81-6677

## ◎地域防災活動推進大会開催

平成27年1月17日（土）藤沢市民会館小ホールにおいて、平成26年度地域防災活動推進大会（主催：藤沢市・藤沢市防災組織連絡協議会）が開催されました。

会場は、307名の参加者でほぼ満席になる中、2地区からの事例発表と、東日本大震災で被災した釜石市両石町元自主防災組織代表の瀬戸 元氏により講演がありました。

事例発表では「片瀬地区自主防災協議会」から防災訓練等の活動をまとめたビデオ上映による発表、「村岡地区自治町内会連合会」から防災訓練についての発表がありました。



また、瀬戸氏による講演では「東日本大震災『被災地からの報告』～大震災と教訓～」というテーマで、「釜石の奇跡」として全国的に評価された「釜石東中学校の防災学習」、災害時の体験・教訓の伝承と地域の防災意識の向上に関するご講演をいただきました。

## ◎研修部会主催の視察研修行われる

平成27年1月28日（水）防災リーダー連絡会研修部会（部会長・樋口弘之—石川南原）主催の視察研修が実施されました。参加者16名。

今回は「静岡県地震防災センター」を見学、90分コースでした。

見学内容の詳細については、裏面へ…

## 静岡県地震防災センター見学内容について

### ① TSUNAMI シアター

→大画面に、清水港の津波襲来想定画像が映し出され、津波の激しさ、怖さを感じました。

### ② 体験コーナー

→起震装置で震度7までの体験をしました。



### ③ 展示コーナー

→転倒防止装置の無い家具等が室内において転倒している状況や、各種災害の写真を見学し、防災の大切さを再確認しました。

### ④ 防災講話

→解説担当員から静岡県における防災についての講話を聞きました。

静岡県では、「地震・津波・富士山の噴火」の3点に重点を置いているとのことです。

地震…南海トラフの東端にあたり、

30年以内に60～70%で発生すると言われていている地震に対する備えを実施している。

津波…地震が海岸線近くで発生する確率が高く、地震後、早い所では2～3分で津波が到着すると予想されている。

富士山の噴火…溶岩流、土石流、降灰への対策を検討している。



### 《私たちが注意すること…》

地震…相模トラフにより上記と同率の発生が予想される。

津波…境川・引地川流域の低地域では、川を逆流してくる津波に警戒する。

富士山の噴火…溶岩・土石流の心配は無いが、偏西風の風向きによっては、火山灰の約85%が神奈川県に降る可能性がある。

また、火山灰が30cm以上積もると木造家屋は倒壊する危険性がある。

### 私たちにできることは…

「自分の命は自分で守る」—まずは生き延びること—

**自助7:共助2:公助1** (※共助…近所/自治(町内)会、公助…市/消防/警察)と言われており、まずは自分で自分の身を守るのが70%となっています。

その中で、自助の割合を減らし、共助の割合を30～40%に増やすべく、自治(町内)会や防災リーダー等が尽力しております。

担当自治(町内)会 Jタウン湘南ヒルズ、西俣野中、西俣野下、新田